

○地方創生加速化交付金 K P I 達成状況（経過一覧）

事業名	事業における重要業績評価指標 (KPI)	担当部署 (係名)	事業実施前数値 ※実施計画より	事業年度 (H28) 実施結果				H29実施結果		H30実施結果		R1実施結果		R2実施結果				(参考) 数年後	
				当年度指標値	実績値	当年度進捗率※1	数年後指標値に対する進捗率※2	実績値	数年後指標値に対する進捗率※2	実績値	数年後指標値に対する進捗率※2	実績値	数年後指標値に対する進捗率※2	実績値	数年後指標値に対する進捗率※2	実施担当部署 実施にあたっての自己評価及びコメント	備考	指標値	年月
学校・地域・企業連携によるみらいの人材育成推進事業	学校と協働した農業体験に参加した町外からの参加者数 (単位:人)	生涯学習課 (生涯学習係)	0	50	90	180.0%	90.0%	70	70.0%	50	50.0%	48	48.0%	0	0.0%	地元の方々のご協力により、田んぼの学校は6回、野菜塾は3回を計画していたが、コロナ禍のためすべて中止となった。活動は中止となったが、次年度に向けた内容の改善を検討し、田んぼの学校では令和3年度は合鴨農法からレンゲ栽培による緑肥を導入することとした。コロナ禍であっても前向きに内容改善を図ることができた点は評価できる。 <5年間の総括> この5年間で親世代の年齢層が若返り、親子で一緒に楽しむ姿が見られるようになった。また、SNS (facebook) によるPRを継続しており、募集や活動内容の周知を効率的かつ効果的に行うことができていいる。一方、農業体験は準備に期間、費用がかかるため規模拡大が難しく、実績値の達成には至らず課題が残った。この点については引き続き農林課との連携や、さらなる協力農家の発掘が必要となる。	・田んぼの学校：町外0人 (大人0人、子ども0人 総数0人) ・野菜塾：町外0人 (大人0人、子ども0人 総数0人)	100以上	令和3年3月
	地域連携・ICTを活用して企画・開発・販売した物産品等の年間売上高 (へごやま茶、お米、スイーツ) (単位:千円)	まちづくり課 (まちづくり推進係) ※その他あり (企画課・農林課)	461	2,300	4,208	183.0%	105.9%	7,849	208.8%	5,192	133.7%	5,310	137.0%	7,892	210.0%	(まちづくり) 新型コロナウイルスによる、各種イベントへの出店ができないなか、「麒麟がくる」や地元出生の武将「可児才蔵」に関連した商品の売り上げが好調であった。 <5年間の総括> 各種イベントやキャラバン活動を展開し、特産品の知名度向上と販路拡大を図るとともに、御嶽宿わいわい館でおもてなし事業を展開した。またネット販売によるマーケティングの展開を行い通販サイトにおける「みたけのええもん」の一部商品の取り扱いをおこなった。今後さらなる販路拡大を目指していく。 (農林) 新型コロナウイルスによる、各種イベントへの出店、PRが出来ない中、みたけ味噌・ごへだ味噌の急激な変動はなかった。 <5年間の総括> 各種イベントへの出店、PRにより道の駅での常時販売、電話注文、HP通販などもPRすることもでき、リピーターが根付きつつあると考えられる。さらにイベントのPRなどを通して今後も販路拡大につなげていきたい。		4,000以上	令和3年3月
	クラウドファンディングにより実現した事業・プロジェクト数 (単位:件)	企画課 (企画調整係)	0	3	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	3	20.0%	5	33.3%	7	46.7%	昨年度まで実施した「みんなのみたけファンディング活用事業」におけるセミナーなどのノウハウを生かして、クラウドファンディングの支援窓口を企画課内に設置した。3件の相談があり、うち2件は案件を公開、事業が実現した。 <5年間の総括> 5年間で7件の案件が成立し、合計で3,914,800円 (支援者587人) の支援を受けることができた。今後も町の活性化につながるような案件を支援していく。		15以上	令和3年3月

事業名	事業における重要業績評価指標 (KPI)	担当部署 (係名)	事業実施前 数値 ※実施計画より	事業年度 (H28) 実施結果				H29実施結果		H30実施結果		R1実施結果		R2実施結果				(参考) 数年後	
				当年度 指標値	実績値	当年度 進捗率※1	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実績値	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実績値	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実績値	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実績値	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実績値	数年後指標 値に対する 進捗率※2	実施担当部署 実施にあたっての自己評価及びコメント	備考
	工業団地従業員の町内居住割合 (単位: %)	まちづくり課 (まちづくり推進係) ※その他あり (企画課)	21.1%	23.0%	19.1%	83.0%	-22.5%	20.9%	-2.2%	22.2%	12.4%	21.1%	0.0%	21.6%	5.6%	本社からの出向者や期間従業員等の雇用状況により微増したものと考えられるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、地元高校生に対する事業は行えなかった。 <5年間の総括> 今後も引き続き、地元高校生を主体にキャリア教育事業等を展開し、工業団地内企業の魅力発信や町内就業の意識高揚など若い世代の人材育成に努める。		30.0% 以上	令和3年 3月
地域資源を活用した観光誘客推進事業	観光入込客数 (単位: 万人)	まちづくり課 (まちづくり推進係)	50	52	51	98.1%	20.0%	49	-20.0%	47	-60.0%	46	-80.0%	41	—	山城平城の整備や可児才蔵武功伝承館の開設を行うなど新たな事業を行ったものの、コロナ禍の影響による外出の自粛やイベント開催の自粛が続く、前年比減となった。 <5年間の総括> 引き続き、山城平城の整備や可児才蔵にスポットを当てた事業の展開等、地域資源、歴史的資源の磨き上げを行う。		55	令和3年 3月
	外国人観光客数 (単位: 人)	まちづくり課 (まちづくり推進係)	219	500	800	160.0%	32.6%	800	32.6%	850	35.4%	700	27.0%	0	-12.3%	近年は外国人観光客は増加傾向にあったものの、コロナ禍による外的要因の影響を受け、外国人観光客が皆無となっている。 <5年間の総括> コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける結果となったが、今後は上記事業を進めるに当たり外国語表記を増やすなどコロナ終息後の受入れ準備に努めていく。	※左記実績の内、御嶽宿わいわい館に訪れた外国人観光客数: 0人	2,000	令和3年 3月
	古民家を活用した交流拠点施設数 (単位: 箇所)	まちづくり課 (まちづくり推進係)	0	0	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	2	200.0%	1	100.0%	御嶽宿内の古民家「柏屋」を民間活力 (民間資金) による活用に向けた取組を行い、現状の建物を残すこと、登録有形文化財への申請をすること、地域の賑わいづくりに寄与する活動を展開すること、第三者への転売を原則5年禁止することの条件を付して民間に売却した。 <5年間の総括> 柏屋の活用として、条件付きでの民間への売却が行えた。今後、登録文化財への申請に向けた協力等も行い、引き続き地域の賑わい創出のため、歴史的資源の活用・磨き上げを努めていく。		1	令和3年 3月